

委員会視察成果報告書

2025年 1月 6日

犬山市議会議長

議員名 岡村千里

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	2025年 12月 17日(水) ~ 年 月 日() (泊 日)
(2) 視 察 地	寺澤様農園 (犬山市 米麦専業農家)
(3) 視察の種類	(常任)・特別 委員会 (建設経済 委員会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	1. AI, GPS, ドローンを導入した米づくり・耕作放棄地の活用。 寺澤直也様：家業の米麦専業農家を継いで6年。 当初は2haの農園だったがい、現在は41haまで拡大。 米が36ha、麦が6ha。現在の倉庫は、補助金等は使わずに 建設。(総工費1億5000~6000万円)米の乾燥、脱穀、光センサーでの 選別まで自家ででき、効率があがった。 ドローン、AI, GPSの導入で消毒時間の短縮(7日→2日程度)ができた。 また、AI予測は1週間先までできる。生育予測は、緑、黄緑、黄、赤 色で表示され、黄、赤色部分は、消毒や肥料をまねて、質を上げる ことができる。結果として、愛知県産コシヒカリは全体の2%と少ない。 その中に入っている。 日の出団地の北側の耕作放棄地を購入。毎年2haほど請け 負ったため、面積は増える。今後は法人化し雇用が必要。 最後に水路に土などがたまり、草などがはえている所を視察した。
(5) 犬 山 市 に 対する提言	1. 市内で、このような新しい技術を使った米、麦づくりが行わ れていることに感動した。犬山の水田を守っていくには、農業を担う 人材育成が欠かせない。ドローンやAIを使った農業を市も学び、 新規就農者や、現就農者にも紹介していく。 2. 農協との連携を強化する。 3. 水路の修繕や、堆積物をとり除くなど水路の改善を行う。

